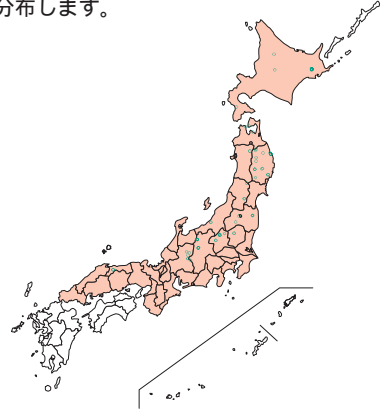


アメマスは白点のみ
ヤマトイワナは赤点のみ

分布

北海道から本州にかけて分布します。



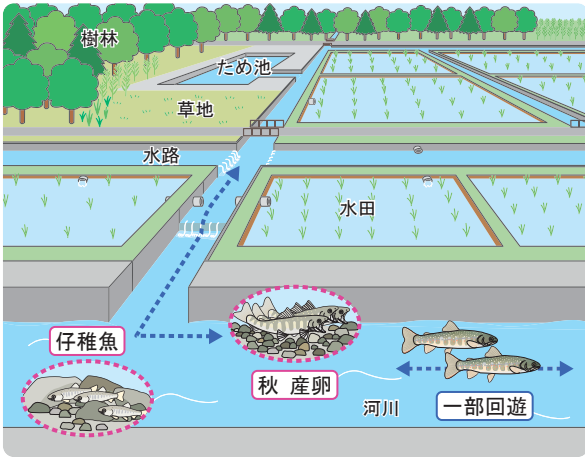
●：「田んぼの生きもの調査」での確認箇所

メモ

夏でも水温が15 以下の冷水を好みます。
いくつかの亜種に分かれ、アメマスが北海道～東北、ニッコウイワナが鳥取、神奈川以北の本州、ヤマトイワナが本州中部以西の太平洋岸と紀伊半島の一部、ゴギが岡山・島根以西の中国地方に分布します。

生態

----> : 本来の移動経路 ○ : 生息環境



主な産卵環境と生息環境

↔ : 主な生息環境

| | | | | | |
|-------|-----|----|----|----|---|
| 樹林・草地 | ため池 | 水田 | 水路 | 河川 | 海 |
| | | | | 産卵 | |

生活史

河川源流域に主に生息しますが、東北地方や北海道では河川の中・下流にも生息し、海へ回遊する個体もあります。沢などの淵で生活し、秋に淵の砂礫底で産卵します。仔稚魚は孵化後しばらく砂礫内にとどまります。

写真



ニッコウイワナ



アメマス
(エゾイワナ)

体色の斑点の色によって亜種を見分けることができますが、中間的なものもみられます。

配慮対策

生息環境の確保

淵の砂礫底の創出

環境配慮型水路の対象工法



【水路断面】

瀬・淵

p.69

【配慮ポイント】

・生息および産卵環境となる、淵の砂礫底を形成する工夫が必要です。

移動経路の確保

水路内の落差の解消

魚道の対象工法



【水路魚道】

階段型 p.61

隔壁型（千鳥X型） p.62

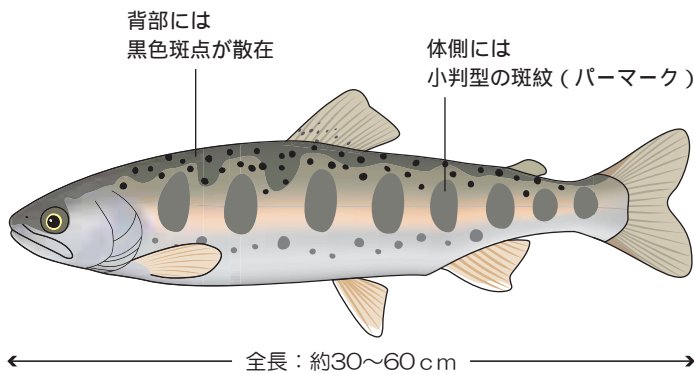
隔壁型（ハフコ型） p.63

片斜面粗石付魚道 p.64

【配慮ポイント】

・水路における生息と回遊を配慮して、水路魚道を設置します。体高が低くて遊泳力も強いいため、いずれの魚道タイプも適用できます。

別名：サクラマス、ホンマス、ヤマベ、ヒラベ、エノハ、マダラなど



分布

北海道、本州の関東以北の太平洋岸と日本海側全域、九州の一部に分布します。

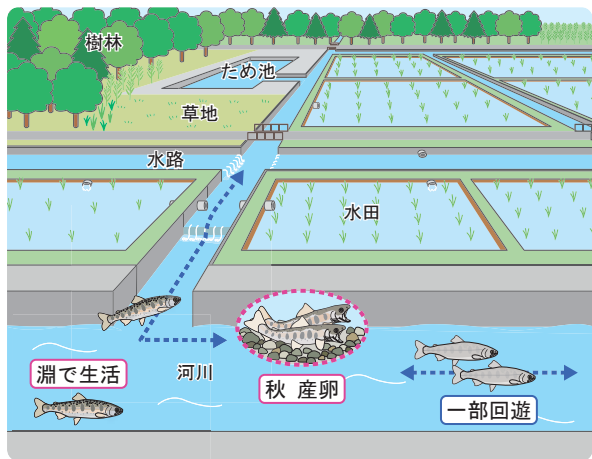
西日本の太平洋側にはアマゴが分布。



●：「田んぼの生きもの調査」での確認箇所

メモ 北海道、東北、北陸地方ではほとんどが降海して大きくなり、サクラマスとなります。北陸以西の本州と関東地方、九州では川にとどまり、小型のまま一生を終えます。

生態 ---> : 本来の移動経路 ○ : 生息環境



主な産卵環境と生息環境 <--> : 主な生息環境

| | | | | | |
|-------|-----|----|----|----|---|
| 樹林・草地 | ため池 | 水田 | 水路 | 河川 | 海 |
| | | | 産卵 | 産卵 | |

生活史

河川の上・中流域に主に生息します。海へ回遊する個体もあり、サクラマスと呼ばれます。淵で生活し、夏場の日中は瀬に現れます。秋に淵尻や瀬わきの砂礫底に移動して産卵します。

写真



ヤマメ



アマゴ

西日本の太平洋側に分布するアマゴは、ヤマメと異なり体側に赤い点があります。降海するものはサツキマスと呼ばれますが、堰などの建設により、その姿はほとんどみられなくなりました。

配慮対策

生息環境の確保

瀬・淵と砂礫底の創出

環境配慮型水路の対象工法



【水路断面】
瀬・淵

p.69

【配慮ポイント】

・生息および産卵環境となる、瀬・淵と砂礫底を形成する工夫が必要です。

移動経路の確保

水路内の落差の解消

魚道の対象工法



【水路魚道】

- 階段型 p.61
- 隔壁型（千鳥X型） p.62
- 隔壁型（ハココン型） p.63
- 片斜面粗石付魚道 p.64

【配慮ポイント】

・水路における生息・産卵と回遊を配慮して、水路魚道を設置します。体高が低くて遊泳力も強いので、いずれの魚道タイプも適用できます。